

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3)	運営推進会議へのグループホーム利用者家族の参加が盛んではない。また、地域の有識者などの参加も少なく、「地域に開かれたサービス」としてサービスの質の確保をする、とする運営推進会議の本来の目的を十分に達成できていない。	運営推進会議に、より多くのグループホーム利用者家族に参加いただいたり、地域の有識者など広く多岐にわたる参加者を募り、「地域に開かれたサービス」、「サービスの質の確保」を図る。	家族さんの参加については、案内文の発送だけでなく、開催後の報告もお便りする事で、会議の内容への理解を図り、興味関心を持っていただけるよう工夫する。また電話連絡の際に、口頭でお誘いする機会も増やしていきたい。地域の有識者の参加については、「秋の防災」に合わせて、地域の消防団に参加いただく機会を設けたい。また、現在会議の中で、「徘徊」をテーマに議論を重ねているので、警察、地元商店など、認知症高齢者が外に繰り出して行った場合、出会うであろう地域の人、関係機関にも参加いただきネットワーク作りをしていく他、機関紙を通じて啓蒙していきたい。	1年
2					
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。